

片山学長の最終講義レポート

2014.3.20 ICT ユニット

概要:

2014年3月20日に片山学長の最終講義を Ustream で配信した。当初はパスワード付きで配信を開始したものの、同時アクセスに対する制限が判明したため、急遽パスワードなしでの配信に切り替えた。講演の配信は片山学長の映像・音声と PC 画面を合成した形で実施した。同時視聴者数は 40 件前後、合計視聴者数が 120 件前後であり、配信ソフトウェアの不具合による一時停止はあったものの、全体としては短期間の準備で学外インフラを利用してスムーズに配信を行うことができた。

スケジュール:

日時:2014年3月20日(木)15:30~17:00

場所:マテリアルサイエンス研究科講義棟1階 小ホール

タイトル:「ソフトウェア工学研究の回顧と展望」

講習会の様子:



JAIST
THE UNIVERSITY OF ELECTRONIC SCIENCE AND TECHNOLOGY

片山卓也先生の最終講義
「ソフトウェア工学研究の回顧と展望」

略歴

- 1939年生まれ、電気・ラジオ少年
- 1961年 東工大電気工学科卒業
卒論「電子式面積系」、内藤正先生指導
デジタル計算機は大学になかった。アナログ計算機の時代
デジタル計算機を開発中の修士学生の手伝い(論理回路の机上シミュレーション)
- 1963年 修士修了
修論「線形写像による符号長短縮」
飯島泰蔵先生@産総研(当時は電気試験場)後に本学副学長の指導
- 1963年 日本IBM
計算機との遭遇、はじめてのプログラミング、アセンブラ、COBOL、FORTRAN、OS/360、制御用OSの改造
- 1965年 博士課程入学(東工大、制御工学専攻)

1963
1965

構成図:

